

平成30年度「学習オーガナイザー養成研修」開催要項

1. 趣旨

国立女性教育会館では、「男女共同参画の視点に立った地域づくり」をテーマに体系的な学習プログラムを効果的に実践・展開できる人材を育成する「学習オーガナイザー」を養成する研修を開催します。

男女共同参画の基本理念や取組の意義、社会状況や現代的課題について把握し、個人の課題と社会的課題のつながりについて整理するとともに、学習方法や評価など、事業運営に関する実務的な学びの機会を提供することで、経験者の知見・技能の向上と人材養成をもって男女共同参画の推進を図ります。

2. 目的

- (1) 男女共同参画の基点・基軸の形成
- (2) 学習をオーガナイズする企画力・実践力の形成
- (3) 地域における社会参画を推進する人の育成

3. 主催 独立行政法人国立女性教育会館

4. 会場 国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

TEL 0493-62-6724・6725

FAX 0493-62-6720

5. 期日 平成30年12月12日(水)～12月14日(金) 2泊3日

6. 対象及び定員

女性関連施設、公民館、行政、大学、NPOなどで、研修・学習事業、女性のキャリア開発、女性の活躍推進・地域づくりに係る事業等の企画・実施経験を有する者 30名

*現に業務に就いている方、活動している方、初めて参加される方を優先します。

7. 日程・内容(各プログラムの間に10～15分の休憩が入ります)

12/12 (水)	12:30		13:00	14:10	15:00	16:10	17:20	18:30	20:00
			受付	開会	講義	講義	講義 グループワーク	情報 交換会	
12/13 (木)	9:10	10:45	11:30	12:30	14:00	17:30			
	講義	講義	昼食	実践研究	グループワーク				
12/14 (金)	9:00	10:45	11:40	11:55	12:15				
	グループワーク	まとめと 成果の 共有	振り返り	閉会					

第1日 12月12日(水)

- (1) 開会 13:00～14:00
①理事長あいさつ 内海 房子 国立女性教育会館理事長
②オリエンテーション 佐伯加寿美 国立女性教育会館事業課専門職員

- (2) 講義「学習オーガナイザーの役割とは。プログラムデザインの意義と活用」 14:10～14:50

学習オーガナイザーの役割について解説します。また、学習プログラムの設計図となる「プログラムデザイン」作成の目的・意義とその重要性について、学習の「見える化」の視点から理解を深めます。

講師：櫻田今日子 国立女性教育会館事業課長

- (3) 講義「男女共同参画の基礎的理解を深めるために
～個人的課題から社会的課題、そして課題解決へ～」 15:00～16:00

男女共同参画社会基本法の理解、視点の必要性、個人的課題と社会的課題のつながりについて理解を深めます。また、男女共同参画の歴史的経緯や、個としての女性と社会との関係などを踏まえ、男女共同参画の今日的な理解について講義を行います。

講師：神田 道子 東洋大学名誉教授

- (4) 講義・グループワーク「統計から考える男女共同参画の現状」 16:10～17:20

男女共同参画社会基本法の5つの柱をもとに、人権、意思決定の参画、職業と他の活動の両立、性別役割分業、国際的協調などについて、統計データから日本の男女共同参画の現状と課題を深掘りし、読み解きます。地域の実状を知るための基礎としての統計の見方を学びます。

講師：中野 洋恵 国立女性教育会館研究国際室長

- (5) 情報交換会 18:30～20:00
全国からの参加者同士のネットワークづくりを図り、交流を深めます。

第2日 12月13日(木)

- (6) 講義「協働型学習の理論・方法について」 9:10～10:30

協働型学習（グループワーク）を単なる「意見交換の場」ととどめずに、場の学びをどう振り返り意味づけするか、その意味づけの中から実践につながる「気づき」を通じて、学びから実践につなげる重要性について、社会教育の視点から考えます。

講師：笹井 宏益 玉川大学学術研究所教授

- (7) 講義「男女共同参画の視点に立った事業企画を考える」 10:45～11:30

学習プログラムを企画・実施する上での注意点をPDCAサイクルに基づき、解説します。また、プログラム実施によって実践の場づくりやネットワークが広がった事例も紹介します。

講師：松下 光恵 NPO法人男女共同参画フォーラムしずおか代表理事

<昼食休憩 11:30～12:30>

- (8) 実践研究「地域づくりと自己開発・キャリア開発を結びつける」 12:30～13:50
職業や社会活動をとおして自己開発・キャリア開発を進めた実践報告をもとに、その共通要因やポイントについて把握します。また、キャリア開発を進めていくうえで、社会参画へと結びつけていくことを考えます。

報告者：調整中（学習オーガナイザー養成研修修了生の予定）
コーディネーター：亀田 温子 十文字学園女子大学名誉教授
日本女性学習財団理事

- (9) グループワーク「地域に即した課題解決プログラムをつくる」① 14:00～17:30
課題解決に向けての意識開発と実践活動につながる学習プログラムデザインを、実際に企画・作成します。

ファシリテーター：西山恵美子 国立女性教育会館事業課客員研究員
学習支援：平成30年度「学習オーガナイザー養成研修」企画委員
国立女性教育会館事業課専門職員

第3日 12月14日（金）

- (10) グループワーク「地域に即した課題解決プログラムをつくる」② 9:00～10:45
課題解決に向けての意識開発と実践活動につながる学習プログラムデザインを、実際に企画・作成します。

ファシリテーター：西山恵美子 国立女性教育会館事業課客員研究員
学習支援：平成30年度「学習オーガナイザー養成研修」企画委員
国立女性教育会館事業課専門職員

- (11) まとめと成果の共有 10:45～11:30
作成したプログラムデザイン案の発表により成果を共有するとともに、出来上がったプログラムを検証します。

コメンテーター：平成30年度「学習オーガナイザー養成研修」企画委員

- (12) 振り返り「学習オーガナイザーの役割」 11:40～11:55
3日間の研修を通して学習したことや作成したプログラムデザインについて振り返り、学習オーガナイザーの役割について再確認します。

講師：櫻田今日子 国立女性教育会館事業課長

- (13) 修了証の授与・閉会あいさつ 11:55～12:15
中澤 貴生 国立女性教育会館理事

8. 申込手続

- (1) ホームページよりフォームでのお申し込み、もしくは別紙「参加申込書」に必要な事項を記入のうえ郵送、のいずれかの方法でお送りください。

URL：<https://ws.formzu.net/fgen/S34788160/>

*送受信の行き違いや受信もれを防ぐため、**FAXは不可**とさせていただきます。

(2) 申込期限：平成30年11月30日（金）（先着順）

*申込期間内でも、定員に達した場合は申込を締め切ることがあります。

(3) 参加のお知らせ

御本人宛に電子メールまたは郵送にて、10月下旬より順次お知らせします。

*平成30年12月3日（月）までに通知が届かない場合、事業課（電話：0493-62-6724）までお問い合わせください。

9. 所要経費（金額はすべて消費税込み）

(1) 参加費：無料

(2) 宿泊費：研修期間中は、1名1泊あたり1,200円

*お風呂付きのお部屋に限りがありますので、お風呂なしのお部屋になる場合があります。その際は申し訳ございませんが共同浴室を御利用ください。特別な御事情のある方は事前にお電話で相談もしくは申込書備考欄に記入ください。

*12/11（火）及び12/14（金）も、1泊1,200円で宿泊可能です。

(3) 情報交換会費：3,500円（立食形式、希望者のみ）

(4) 食費：朝食 バイキング 870円

昼食 カフェテリア形式 550円～800円程度

夕食 バイキング 1,080円

10. 平成30年度「学習オーガナイザー養成研修」企画委員（五十音順、敬称略）

- ・ 亀田 温子 十文字学園女子大学名誉教授、日本女性学習財団理事
- ・ 神田 道子 東洋大学名誉教授
- ・ 西山恵美子 国立女性教育会館事業課客員研究員
- ・ 松下 光恵 NPO法人男女共同参画フォーラムしずおか代表理事

11. その他

研修期間中に職員が撮影した写真を記録や広報のために使用することがあります。あらかじめ御了承ください。